

B.1 モニタリング実績 ※1 ※2

= 選択/記入するセル

= 必要な場合のみ記入するセル

= 入力しないセル

モニタリング項目			モニタリング方法 ※3			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
Area _{Forest,i}	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha	実測 (GPS 測量)	作業後GPSで測量を行う	初回検証申請 時に1回	レーザー測量器	0.3~1m	使用前点検	
Area _{Forest,cu t,i}	主伐が実施された森林の面積	ha	実測 (GPS 測量)	作業後GPSで測量を行う	主伐実施時に1 回	レーザー測量器	0.3~1m	使用前点検	
ΔTrank _{SC,i}	(年間) 幹材積成長量	m ³ /ha	収穫予想表	奈良県林分収穫表(下十津川地域)	検証申請時に1 回	—	—	—	
Trank _{SC,cut, i}	幹材積量	m ³ /ha	収穫予想表	奈良県林分収穫表(下十津川地域)	検証申請時に1 回	—	—	—	
WD _i	容積密度	t/m ³	デフォルト 値	モニタリング・算定規程	検証申請時に 最新のものを 使用	—	—	—	
BEF _i	拡大係数	—	デフォルト 値	モニタリング・算定規程	検証申請時に 最新のものを 使用	—	—	—	
CF	炭素比率 (炭素含有率)	—	デフォルト 値	モニタリング・算定規程	検証申請時に 最新のものを 使用	—	—	—	
R _{ratio,i}	地下部率	—	デフォルト 値	モニタリング・算定規程	検証申請時に 最新のものを 使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	(地位特定のためのモニタリングプロットは、設定箇所を森林計画図・オルソ画像、空中写真等を用いて別添資料として示すこと) モニタリング・算定規程に準拠	初回検証申請 時に1回	(胸高直径の測定に使用する計量器を記載) 輪尺	—	使用前点検	
						(樹高の測定に使用する計量器を記載) レーザー測量器 (トゥルーパルス)	—	使用前点検	

※1 プロジェクト登録申請日以降モニタリング方法に変更がない場合は、プロジェクト計画書と同じ内容を記載する。
 ※2 面積、胸高直径、樹高の実測結果の野帳等は、検証機関や制度管理者から要求があった場合に提出できるよう準備しておくこと。
 ※3 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。

B.2 吸収量の算定結果

=選択/記入するセル

=入力しないセル

B.2.1 本報告において認証を申請する期間

認証を申請する期間	2019年04月01日 ~ 2020年03月31日
-----------	---------------------------

※ 認証を申請する期間は、認証対象期間（プロジェクト登録申請日の含まれる年度の4月1日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定）内であり、過去の検証済み期間、検証申請日以降の期間、他の類似制度への認証申請の対象期間の何れとも重複がないこと。

B.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
C_{total}	当該年度の吸収量	tCO2
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 C_{BL} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)	当該年度の 吸収量 C_{total} (tCO2)
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0
2018年度	0	0	0	0
2019年度	0	509.1	0	509
2020年度	0	0	0	0
2021年度	0	0	0	0
2022年度	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0
2024年度	0	0	0	0
2025年度	0	0	0	0
2026年度	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0
合計	0	509.1	0	509

- ※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、B.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。
- ※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、B.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。
- ※3 当該年度のベースライン吸収量は、B.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

B.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)
2013年度	0	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0	0
2018年度	0	0	0	0	0
2019年度	407.2613753	101.8153438	509.0767191	366	509.1
2020年度	404.0633346	101.0158337	505.0791683	0	0
2021年度	409.2511806	102.3127951	511.5639757	0	0
2022年度	413.6582366	103.4145591	517.0727957	0	0
2023年度	402.5352952	100.6338238	503.169119	0	0
2024年度	390.5273026	97.63182566	488.1591283	0	0
2025年度	388.9282823	97.23207058	486.1603529	0	0
2026年度	382.0111544	95.5027886	477.513943	0	0
2027年度	0	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0	0
合計					509.1

※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、（別紙）吸収量算定シートに記載すること。

※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が2015年度、2019年度、2023年度、2027年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

B.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

記号	定義	単位
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の地上部バイオマス中の排出量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の地下部バイオマス中の排出量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度のプロジェクト実施後排出量 C_{cut} (tCO2)
2013年度	0	0	0
2014年度	0	0	0
2015年度	0	0	0
2016年度	0	0	0
2017年度	0	0	0
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0
2022年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2025年度	0	0	0
2026年度	0	0	0
2027年度	0	0	0
2028年度	0	0	0
2029年度	0	0	0
2030年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

B.2.5 ベースライン吸収量の考え方

(1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、1990年4月以降に森林施業（植栽、保育、間伐）を行った人工林の面積において、2013年4月以降適切な森林経営がなされなかった場合の吸収量とする。

(2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO ₂	0